

家庭科の学習を進めるにあたって(2年生)

◇授業の進め方

家庭科の授業では、「食生活」、「衣生活」、「住生活」、「消費と環境」、「家族・地域」の4つの分野について学習します。

2年生では、主に衣生活・住生活を扱います。衣生活では、衣服の役割、日本の衣文化、衣服計画と選択、衣服の手入れ、作品の製作を行います。住生活では、住まいの役割、気候風土の関わり、室内環境、住まいの安全などを学習します。持続可能な衣生活・住生活についても扱います。

◇学習する上で注意してほしいこと

- ①学校で学習したことはぜひ家庭で実践してみましょう。家庭科は、学習した知識や技能を実生活に活かすことで、本当の力がついていきます。中学校3年間で家庭の仕事が自分ででき、自立できるようにしていきましょう。
- ②安全に注意して授業に臨みましょう。特に実習では、道具や材料を乱暴に扱ったり、ふざけたりすると、自分や周りの人の大きな怪我につながります。
- ③調理や裁縫などの作業が苦手でも、決して途中で諦めないこと。練習すれば必ずできるようになります。分からないことがあったらすぐに聞きにきてください。

◇家庭学習の進め方

家庭科の授業は週に1回しかないので、前回学習したことを見直してから次の授業を受けると良いでしょう。また、学習したことは、実生活の中で考えたり実践したりしてみると本当の意味での力がつきます。ぜひ普段から積極的に家事などに取り組んでみてください。

◇テスト前の学習

授業で学習したことをノートやプリントを見てよく復習し、教科書も一通り読んでおきましょう。普段の授業では、黒板に書かれていないことでもメモしておくことで復習しやすくなり、理解しやすくなります。

◇1年間の学習内容

月	学習内容	月	学習内容	
4	ガイダンス	9	衣服の選択と手入れ ・私らしさと T.P.O. ・日本の異文化 ・衣服計画と必要な衣服の選択 ・衣服の手入れ ・持続可能な衣生活を目指して 日常食の調理 ・肉、魚の調理 住まいの役割と安全な住まい方 ・もしも住まいがなかったら ・住まいと気候風土の関わり ・健康で快適な室内環境 ・住まいの安全・災害への対策 ・持続可能な住生活を目指して	
5	衣服の役割	10		
6	生活を豊かにする布小物の製作 ・布地選び ・縫製	11		
		12		
7	・まつい縫い ・ボタン付け ・スナップ付け ・刺繍、ワッペン付け	1		
		2		
8	・仕上げ	3		学習のまとめ

◇評価

① 知識・技能

定期テスト・実習プリント・作業進度及び技術・実技テスト等

② 思考・判断・表現

レポートの作成・発表・グループでの話し合い・作品の製作等

③ 主体的に学習に取り組む態度

ノートやレポート等における記述・授業中の発言・自己評価や相互評価等

※評価は、技術科と家庭科を合算して評価するので、両方ともきちんと取り組みましょう。